

台風シーズンが到来

風水害に 備えよう

夏から秋にかけて、台風や大雨による自然災害が発生しやすくなります。牛久市には、国で定める洪水予報河川と水位周知河川がないため、水害に関するハザードマップは作成されていませんが、下水道や側溝等が排水しきれない雨量を記録した場合、内水氾濫が起こってしまう可能性があります。被害を最小限に抑えるため、日ごろから備えておきましょう。

防災課 ☎ 内線 1681-1684

大雨警報・注意報の 発表基準

大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合

大雨特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降水量となる大雨が予想される場合

① 日ごろの備え～災害が起こる前に準備を～

お住まいの地域が土砂災害警戒区域に該当するかを確認する



近くの避難所を確認し、避難経路・避難先を決めておく(可能なら在宅避難)



災害時用に準備している持ち出し品に加えて、感染症対策用品(マスク・体温計・アルコール消毒液・ゴム手袋・スリッパ等)も家族分用意する

・側溝や排水溝、雨どい等の清掃をする(枯れ葉やごみが詰まっていると浸水の原因に)
・風で飛ばされそうなものは固定・補強する
・屋根や瓦、ブロック塀、外壁などを点検修理する

在宅避難を考慮し、3日以上以上の食料や飲料、生活用品を備蓄する

② 実際に台風・大雨の予報が出たら

最新の災害情報を入手する

テレビ

テレビのリモコンにある「dボタン」を押し、一覧から選択することで気象情報や避難情報・災害情報を見ることができます。

インターネット

市ホームページトップの「緊急情報」に災害情報や避難所情報などを掲載します。



かっぱメール

市の災害などの緊急情報を配信します。※登録は右記二次元コードまたは「かっぱメール」で検索。



FMラジオ

FMうしくうれしく放送
防災無線と同じ情報を放送します。
FMラジオ周波数85.4MHz



防災行政無線

警報・注意報等の緊急情報をお知らせします。内容は市ホームページ、またはテレフォンサービスで確認できます。



茨城県防災情報メール

県から気象情報・避難関連情報等を配信します。※登録は右記二次元コードまたは「茨城県防災情報メール」で検索。



☎ 0120-506-706

土のうを準備する(必要であれば)

市では、台風・豪雨時により迅速・確実な災害対応を行うため、市内に5カ所の「土のう置場」があります。必要とする市民の方は、24時間いつでも・だれでも土のうを取りに行くことができます。



③ 雨・風が強くなってきたら

気象情報の収集に務め、危険が予想される場合は早めの避難を

① 令和3年5月20日から、災害時に市町村が発令する避難情報の内容が下記のとおり変わりました

警戒レベル 4 避難指示が出たら必ず避難を 「避難勧告」は廃止です

警戒レベル	新 新たな避難情報等		旧 これまでの避難情報等	
5	災害発生 または切迫		緊急安全確保	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~~ 〈警戒レベル4までに必ず避難!〉 ~~~~~				
4	災害の おそれ高い		避難指示	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	災害の おそれあり		高齢者等避難	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	気象状況悪化		大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・ 高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況 悪化のおそれ		早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

#### 警戒レベル 5

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。**警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待ってはいけません!**

※市町村が災害の状況を確認し把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

#### 警戒レベル 4

避難勧告は廃止されました。避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。これからは、**警戒レベル4 避難指示で、危険な場所から全員避難しましょう。**

#### 警戒レベル 3

避難に時間のかかる**高齢者や障害のある人は、警戒レベル3 高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。**

※上記以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するようにしましょう。



<参考>内閣府ホームページ「避難情報に関するガイドラインの改定」より

### 風水害における避難のポイント

#### 避難所へ移動する時は…

##### ①長靴は× 運動靴を履く

長靴は浸水が深いと中に水が入り動きにくくなります。素足は厳禁です。

##### ②足元に注意する

水の中に何かがあるか分からないので、杖などを使って安全を確認しながら進みましょう。

##### ③歩ける深さに注意する

歩ける深さはひざの高さくらいです。流れが早いと20cmくらいでも危険です。

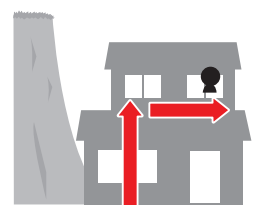
##### ④高齢者や子どもを優先する

高齢者や身体の不自由な人等は背負いましょう。また、お互いの体にロープを結ぶと子ども連れでも安心です。

#### 屋外にでることが危険な時は…

##### 屋内安全確保(垂直避難)

斜面から離れた部屋や建物の2階等、屋内でできるだけ安全なところに避難しましょう。

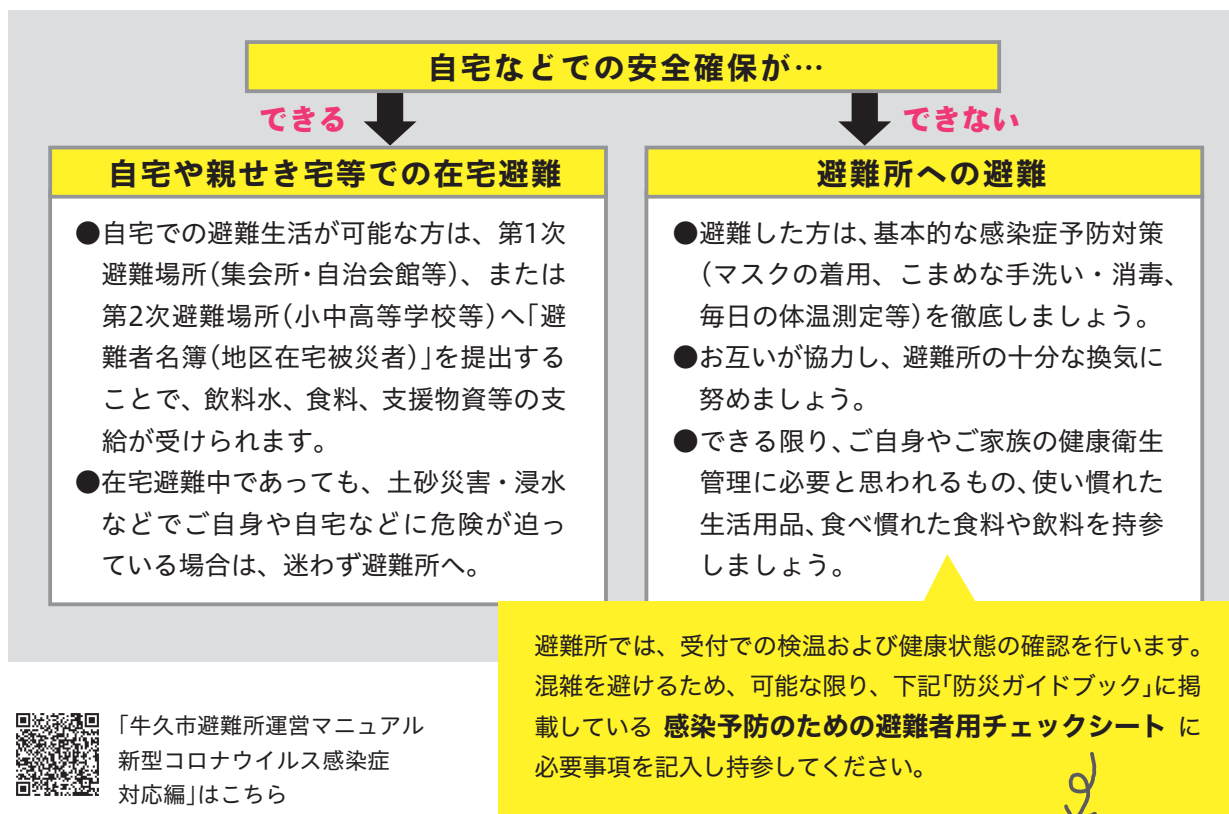


## ！ 新型コロナウイルス感染症が収束しない中における災害時の避難

**自宅の安全が確保されている場合は、必ずしも避難所に避難する必要はありません。**

避難所での密集は新型コロナウイルス等への感染のリスクとなります。市においても複数の避難所を開設する予定ですが、自宅が安全であれば、できる限り自宅で避難生活を送ることが望まれます。

また、親せき宅や友人宅に避難することも感染症防止の観点から有効です。普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。ただし、少しでも危険と思ったら迷わず避難所へ避難しましょう。



「牛久市避難所運営マニュアル  
新型コロナウイルス感染症  
対応編」はこちら

## 災害時のペット との同行避難 について

普段から災害時の  
ペットの安全確保について  
考えておきましょう



### 日ごろから準備しておくこと

- ワクチン接種や寄生虫駆除など、健康面のチェック
- 最低限のしつけや、ケージに慣らす訓練、マイクロチップなどによる所有明示
- 住宅の災害対策や、ペットの避難セットの準備
- ペットの受け入れ対応を含めた避難場所の確認

### 動物のための持ち出すものリスト

療法食や薬、5日分以上のフード・水、首輪・リード、ケージ、食器、飼い主や動物の情報を記録したもの(連絡先、写真、ワクチン接種状況、既往症など)、ペットシート、排泄物の処理用品など

<参考> 環境省ホームページ「動物の愛護  
と適切な管理/ペットの災害対策」より



## 牛久市防災 ハンドブックを 発行しました

市では「牛久市防災  
ハンドブック」を発行し、5月に各家庭に配布しました。災害の事前対策や対処方法に加え、ウイルス感染を避けるための新しい災害対策を盛り込んでいます。

災害発生時に被害を最小限に抑えるためには、「自助」「共助」が大切です。非常用持出袋の準備や身の周りの安全対策など、自分の身を守る行動や、地域住民で協力して避難するなど相互協力を心がけていただき、「防災ハンドブック」を市民の皆さまの災害対策にお役立てください。

